

スプラウト通信

5号

広島県看護連盟青年部委員会 平成28年2月発行

第9回 全国ポリナビワークショップin広島

平成27年11月7日、広島で第9回全国ポリナビワークショップin広島が盛大に開催されました。全国から337名(県外108名、県内229名)という多数の参加がありました。



板谷美智子県連盟会長

有兼充章青年部委員長

講演 I 原田謙介氏

原田氏は「若者が社会をつくる」というテーマで講演されました。少子高齢社会を迎え、政治の世界でも18歳に選挙権が付与され、若者の力が求められています。私たち若手看護師は看護の未来を作り、担うという重要な役割があります。普段から自分の仕事などの身近なことに目を向け、政治を意識することが大切であり、そうした機会に自ら積極的に参画するとともに、自分の周りの家族や看護職仲間に働きかけることが大切であると学ぶことができました。



原田謙介氏

青年部活動報告及び意見交換

岡山県、香川県、広島県の青年部活動報告がありました。各県の活動の様子を聞くことができ、より興味が深まるとともに、広島県の青年部委員会の活動をより強化していきたいと感じました。活動報告に引き続き、会場との意見交換が行われました。活発な意見や質問が出て、各県の青年部活動に対する関心の高さを感じました。

交流会の風景



講演Ⅱ たかがい恵美子 議員



たかがい議員が国政の中で国民のため、私たち看護職のために行っている様々な活動について聞くことが出来ました。一つ一つのことを変えていくためには、時間が必要であり、何より人の力が必要であることを学ぶことが出来ました。私たち看護職は現場でより良い看護を提供し続けていくとともに、私たちが抱えている課題やこうありたいという想いを、たかがい議員を始めとした私たち看護職の代表へしっかりと届けていくという重要な役割があると感じました。

たかがい恵美子 議員 激励コール

今年の夏には参議院議員選挙があります。それに向けて私たち看護職の代表であるたかがい議員への激励コールを参加者全員で行いました。国政の中で頑張っている私たちの代表を、私たちがしっかり支えていきましょう。



激励コールの風景



たかがい議員と板谷会長

交流会

全国ポリナビが終わったあと会場を移動し、たかがい議員も参加され交流会が行われました。霞管弦楽団の演奏で会が始まり、参加した県全ての青年部によるお国自慢・活動報告が行われ、楽しくそして有意義な時間を過ごすことが出来ました。会のフィナーレは約170名の参加者全員が躍ったやっさ踊りでした。

会場のボルテージは最高潮!広島の地で行われた全国ポリナビを身体全体で感じる事が出来ました。



三原やっさ踊りの風景

編集後記

昨年青年部委員が11名となり、今年、全国ポリナビを青年部委員が全員で取り組み、大変盛り上がる会となりました。また、多くの他県の青年部委員との交流も図ることができ、私たちにとても大変貴重な経験となりました。広島県の若手看護職の皆さんと一緒に、来年の参議院議員選挙に向けて仲間を増やし、より充実した青年部委員会活動を行っていききたいと思います。

平成28年1月 青年部委員一同